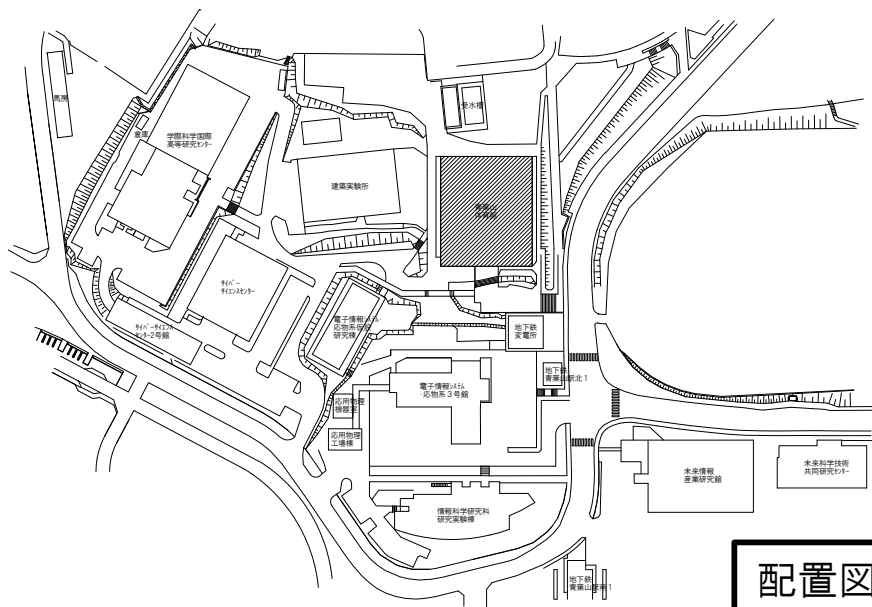


東北大学（青葉山1）青葉山体育館改修その他工事


本工程位置：仙台市青葉区荒巻字青葉6番6号
 （東北大学青葉山1団地構内）



案内図 S=Non Scale



配置図 S=Non Scale

 : 本工程建物（青葉山体育館）

【建物概要】

建物名称：青葉山体育館

建設年：1983年

構造：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造

階数：1階

建築面積：1,881㎡

延べ面積：1,838㎡

整備面積：改修 約130㎡
 増築 約40㎡

【工事概要】

工事場所：宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6番3号
 （東北大学青葉山1団地内）

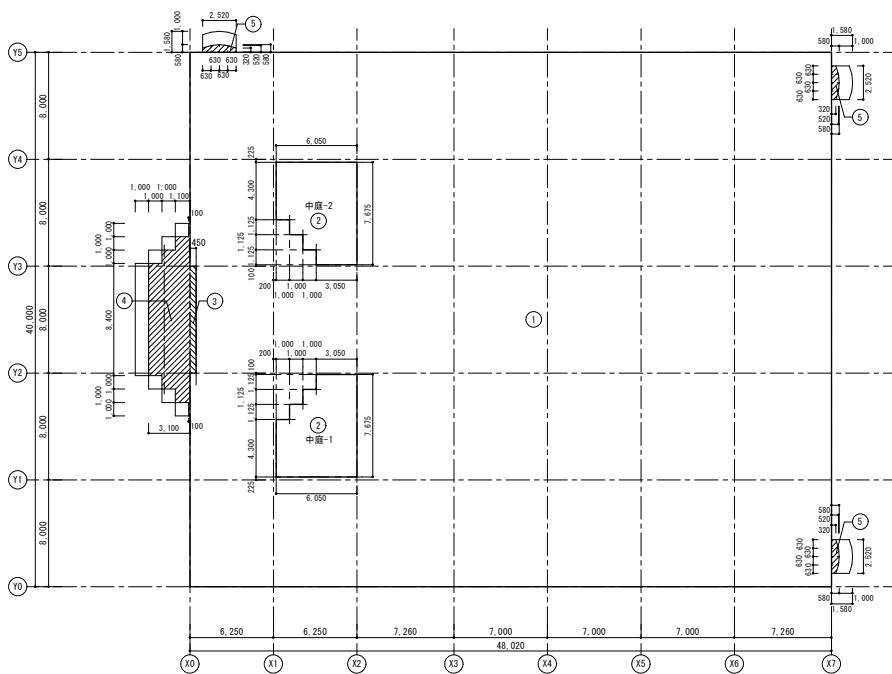
工期：令和2年7月～令和2年10月

工事内容

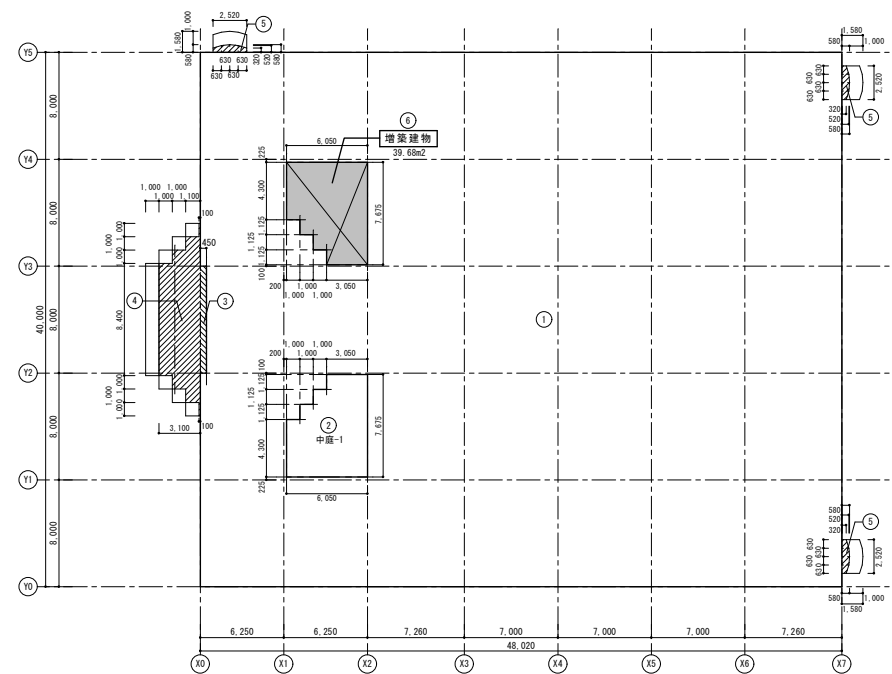
【内装改修】改修面積：約130㎡
 間仕切り改修、床・壁・天井仕上げ改修 等
 （詳細は添付図による）

【増築】増築面積：約40㎡
 コンクリート工事、鉄骨工事、防水工事 等
 （詳細は添付図による）

※施設を使用しながらの工事であり、工事中の仮設工事等を含む



既存求積図



増築求積図

既存求積表

No	計算式	計	カ所	合計	備考
①	48.020×40.000	1,920.80	1	1,920.80	
②	▲6.050×7.675-6(1.000×1.125)	▲39.68	2	▲79.36	
③	▲0.450×8.000	▲3.60	1	▲3.60	
	延床面積			1,837.84	
④	0.450×8.000	3.60	1	3.60	
⑤	3.100×8.400+2(1.000×1.000+1.100×2.000+0.100×1.000)	32.64	1	32.64	
⑥	0.630×2(0.580+0.520)/2+0.630×2(0.520+0.320)/2	1.22	3	3.66	
	小計			39.90	
	建築面積 (1,837.84+39.90)			1,877.74	

増築求積表

No	計算式	計	カ所	合計	備考
①	48.020×40.000	1,920.80	1	1,920.80	
②	▲6.050×7.675-6(1.000×1.125)	▲39.68	1	▲39.68	⑤の増
③	▲0.450×8.000	▲3.60	1	▲3.60	
	延床面積			1,877.52	39.68m²の増築
④	0.450×8.000	3.60	1	3.60	
⑤	3.100×8.400+2(1.000×1.000+1.100×2.000+0.100×1.000)	32.64	1	32.64	
⑥	0.630×2(0.580+0.520)/2+0.630×2(0.520+0.320)/2	1.22	3	3.66	
	小計			39.90	
	建築面積 (1,877.52+39.90)			1,917.42	39.68m²の増築

外部仕上表

屋根			外壁			床			天井			その他					
名称	区分	仕上	名称	区分	仕上	名称	区分	仕上	名称	区分	仕上	名称	区分	仕上			
競技室屋根	既存	着色亜鉛鋼板 t=0.8	外壁	既存	改修前	CW-B+吹付けタイル	ポーチ	既存	改修前	M+100角磁器質タイル	ポーチ	既存	改修前	フレキシブルボード t=4+吹付けタイル	アルミ笠木	既存	アルミ既製品 W=275 (既存のまま)
		改修後		既存のまま		改修後		既存のまま		改修後		既存のまま		改修後	既存のまま	EGP J.C	増築
陸屋根-1	既存	改修前	アスファルト防水	中庭-1外壁	既存	改修前	CW-B+吹付けタイル	中庭-1	既存	改修前	砂敷き t=50				ルーフトレイン	増築	錆鉄製 (100Aシート防水用)
		改修後	既存のまま			改修後	既存のまま			改修後	既存のまま						
陸屋根-2	増築	C-B+シート防水 t=2.0	中庭-2外壁	既存	改修前	CW-B+吹付けタイル	中庭-2	既存	改修前	砂敷き t=50							
					改修後	一部外壁・アルミ建具撤去			改修後	建物増築							

内部仕上表

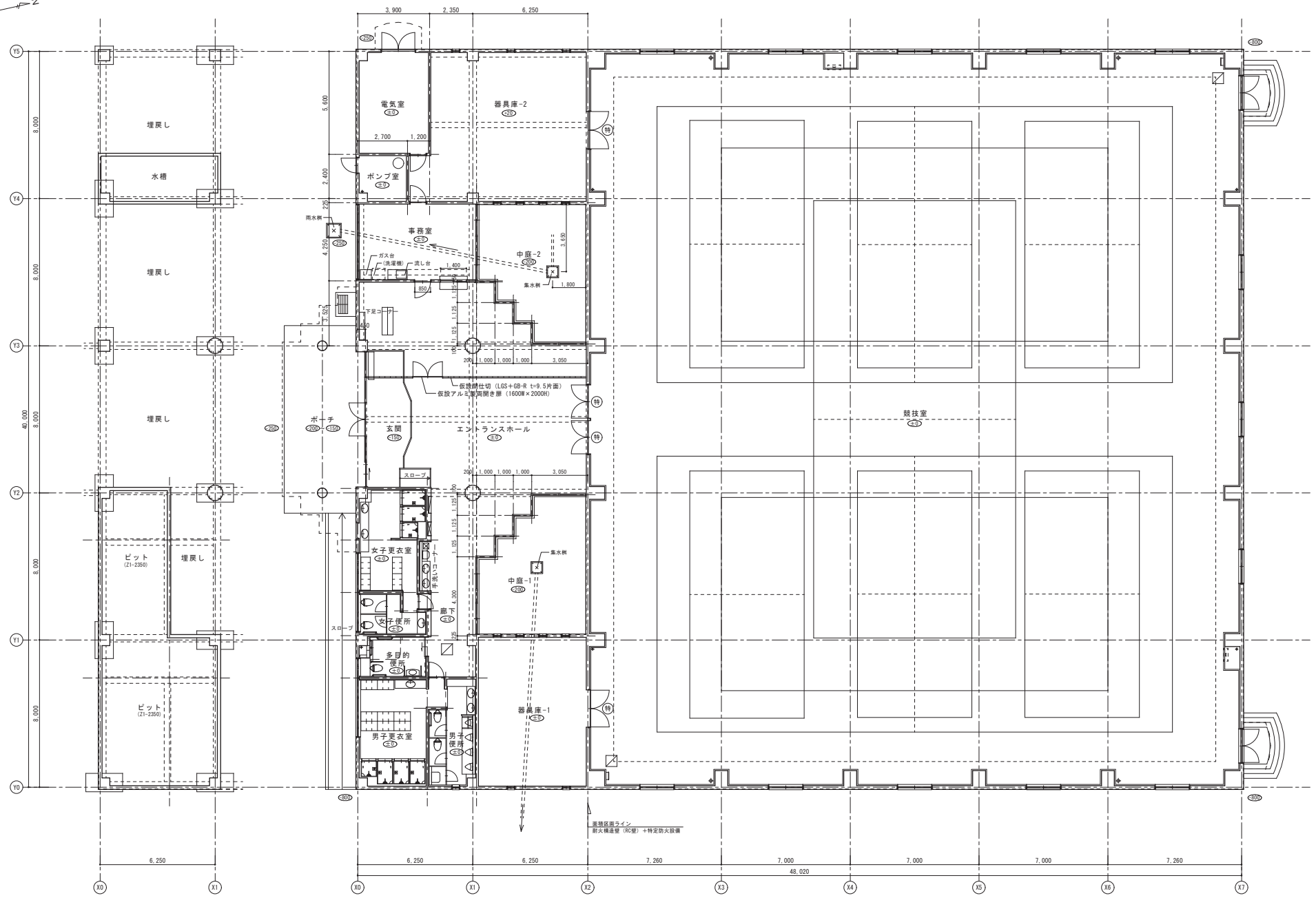
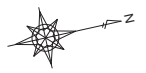
室名	区分	床			巾木	壁		天井		廻縁	CH	備考	
		床下地	SL	FL		壁下地	壁	天井下地	天井				
器具庫-2	仕上撤去	C-A	-15	+20	—	CW-B	コンクリート打放し仕上げ	CW-B	コンクリート打放し仕上げ	—	直天井 2.910		
事務室	仕上・下地撤去	C-A	-15	±0	VS t=2.0	VH H=100	CW-B	E P	LGS CW-B	GB-D t=9 梁型E P	塩ビ	2.380	流し台：1050W×550D×800H (撤去) ガス台：600W×550D×600H (撤去)
エントランスホール (Y3通り西側)	仕上・下地撤去	C-A	-15	±0	VS t=2.0	VH H=100	CW-B	E P	LGS CW-B	GB-D t=9 梁型E P	塩ビ	2.600	
トレーニングジム	増築部 (旧中庭-2)	C-A	-10	+2	VS t=2.0	VH H=60	既存 LGS	GB-R t=12.5(GL)+EP-G GB-R t=12.5+EP-G	LGS	GB-R t=12.5+DR t=9	塩ビ	2.500	集水ピット (塗膜防水)、床点検口 (500×500)、縦樋：VP100A (防露材巻き) 屋根D.PL面・鉄骨梁：吹付UF t=40, 20 屋根スラブ面：吹付UF t=40
	改修部 (旧器具庫-2)	既存	-15	+2	VS t=2.0	VH H=60	既存	GB-R t=12.5(GL)+EP-G	LGS CW-B	GB-R t=12.5+DR t=9 梁型：GB-R t=12.5(GL)+EP-G	塩ビ	2.500	外壁面等：吹付UF t=40, 20 屋根スラブ面：吹付UF t=40
	改修部 (旧事務室)	既存	-15	+2	VS t=2.0	VH H=60	既存 LGS	GB-R t=12.5(GL)+EP-G GB-R t=12.5+EP-G	LGS CW-B	GB-R t=12.5+DR t=9 梁型：GB-R t=12.5(GL)+EP-G	塩ビ	2.500	外壁面等：吹付UF t=40, 20 屋根スラブ面：吹付UF t=40
	改修部 (旧トレーニング棟)	既存	-15	+2	VS t=2.0	VH H=60	既存 LGS	GB-R t=12.5(GL)+EP-G GB-R t=12.5+EP-G	LGS CW-B	GB-R t=12.5+DR t=9 梁型：GB-R t=12.5(GL)+EP-G	塩ビ	2.500	屋根スラブ面：吹付UF t=40
受付室	改修部 (旧トレーニング棟)	既存	-15	±0	VS t=2.0	VH H=60	LGS	GB-R t=12.5+EP-G	LGS CW-B	GB-R t=12.5+DR t=9 梁型：GB-R t=12.5(GL)+EP-G	塩ビ	2.400	屋根スラブ面：吹付UF t=40 受付カウンター、D面壁：ラワン合板 t=12下地 (電気盤取付用)
エントランスホール (Y3通り西側)	改修部	既存	-15	±0	VS t=2.0 (撤去)	VH H=100 (撤去)	CW-B	E P	LGS	GB-D t=9 (撤去)	塩ビ (撤去)	2.600	下足棚×4カ所 (撤去)
		改修	-15	±0	VS t=2.0 (新設)	VH H=100 (新設)	既存 LGS	E P塗り替え GB-R t=12.5+E P (新設)	既存LGS	GB-D t=9, 5 (新設)	塩ビ (新設)	2.600	下足棚 (新設) × 5カ所
エントランスホール・廊下 (Y3通り東側)	既存のまま	C-A	-15	±0	VS t=2.0	VH H=100	CW-B	E P	LGS	GB-D t=9	塩ビ	2.600	仮設間仕切+仮設アルミ製両開き扉 洗濯機×2台 (別途工事)
競技室	既存のまま	C-A	-700	±0	フローリングボード t=18	ラワン合板 t=9 H=1800	CW-B	コンクリート打放し仕上げ	S	着色亜鉛鋼板 t=0.8表わし 鉄骨表わし+SOP	—	直天井	
器具庫-1	既存のまま	C-A	-15	±0	防塵塗料塗り	—	CW-B	コンクリート打放し仕上げ	CW-B	コンクリート打放し仕上げ	—	直天井	
電気室・ポンプ室	既存のまま	C-A	-15	±0	コンクリート金ごて仕上げ	—	CW	コンクリート打放し仕上げ	CW	コンクリート打放し仕上げ	—	直天井	
男子更衣室・女子更衣室	既存のまま	C-A	-15	±0	VS t=2.0	VH H=60	CW LGS	GB-S t=12.5+EP-G	LGS	ケイカル板 t=6+EP-G	塩ビ	2.300	
男子便所・女子便所 多目的便所	既存のまま	C+M	-50	±0	VS t=2.0	VH H=60	CW LGS	GB-S t=12.5+EP-G	LGS	ケイカル板 t=6+EP-G	塩ビ	2.300	

下地凡例		仕上凡例						認定番号					
C-A	コンクリート金ごて仕上げ (直仕上げ、薄物仕上げ)	D.PL	デッキプレート	GW	グラスウール (24kg/m3)	WH	木製巾木	EXP J.C	エキスパンション・ジョイント・カバー	GB-R t=12.5	不燃 NH-8619	シート防水	飛び火認定 告示1365号
C-B	コンクリート金ごて仕上げ (防水下地等)	LGS	軽量鉄骨壁・天井下地	WM	溶接金網 (6φ×100×100)	VH	ビニル巾木	RD	ルーフトレイン	GB-R t=9, 5	不燃 NH-9828		
C	コンクリート木ごて仕上げ (モルタル、タイル下地等)	GB-R	せっこうボード	SC	サンドクッション	VS	ビニル床シート	化粧ケイカル板	化粧ケイ酸カルシウム板	GB-S t=12.5	不燃 NH-9826		
CW-A	コンクリート打放し仕上げ (A種：ウレタン塗膜型枠)	GB-S	シーリングせっこうボード	GL	石こうボードGL工法 (重張り工法)	SOP	合成樹脂適合ベント塗り	C.PL	チェッカープレート	GB-S t=9, 5	不燃 NH-9826		
CW-B	コンクリート打放し仕上げ (B種)	GB-D	化粧せっこうボード			EP	合成樹脂エマルジョンベント塗り	CB	カーテンボックス	GB-F t=12.5	不燃 NH-8615		
CW	コンクリート打ちのまま	ケイカル板	ケイ酸カルシウム板 (自述し張り)			EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンベント塗り	FR	アルミ製ビクチャーレール	GB-D t=9, 5	不燃 NH-0524		
RC	鉄筋コンクリート下地	PF断熱材	ポリスチレンフォーム保温板			DR	ロックウール化粧板張り (フラット)			ケイカル板 t=6	不燃 NH-8578		
M	モルタル下地	FF断熱材	フェノールフォーム保温板			GB-B	グラスウールボード (ガラスクロス押え)			GB-S (不燃) t=12.5	不燃 NH-9639		
W	木製下地	UF断熱材	硬質ウレタンフォーム保温板							DR t=9	不燃 NH-8599		
S	鋼製下地	吹付UF	吹付硬質ウレタンフォーム							EP+EP-G	不燃 NH-8585		

- ・内部仕上り材料 (天井裏等を含む) は全て☆☆☆☆以上とする
- ・また、石綿及びコロイドシリカは使用しない
- ・増築部で、地中深RCの土中部的ふかしは20以上とする (箇示)
- ・増築部のエキスパンションジョイントカバーは、全てシルバーとしクリアラタン寸法を50以上とする
- ・壁LGSは特記なき限り65mmとする
- ・塩ビ製網り縁は突付けタイプとする

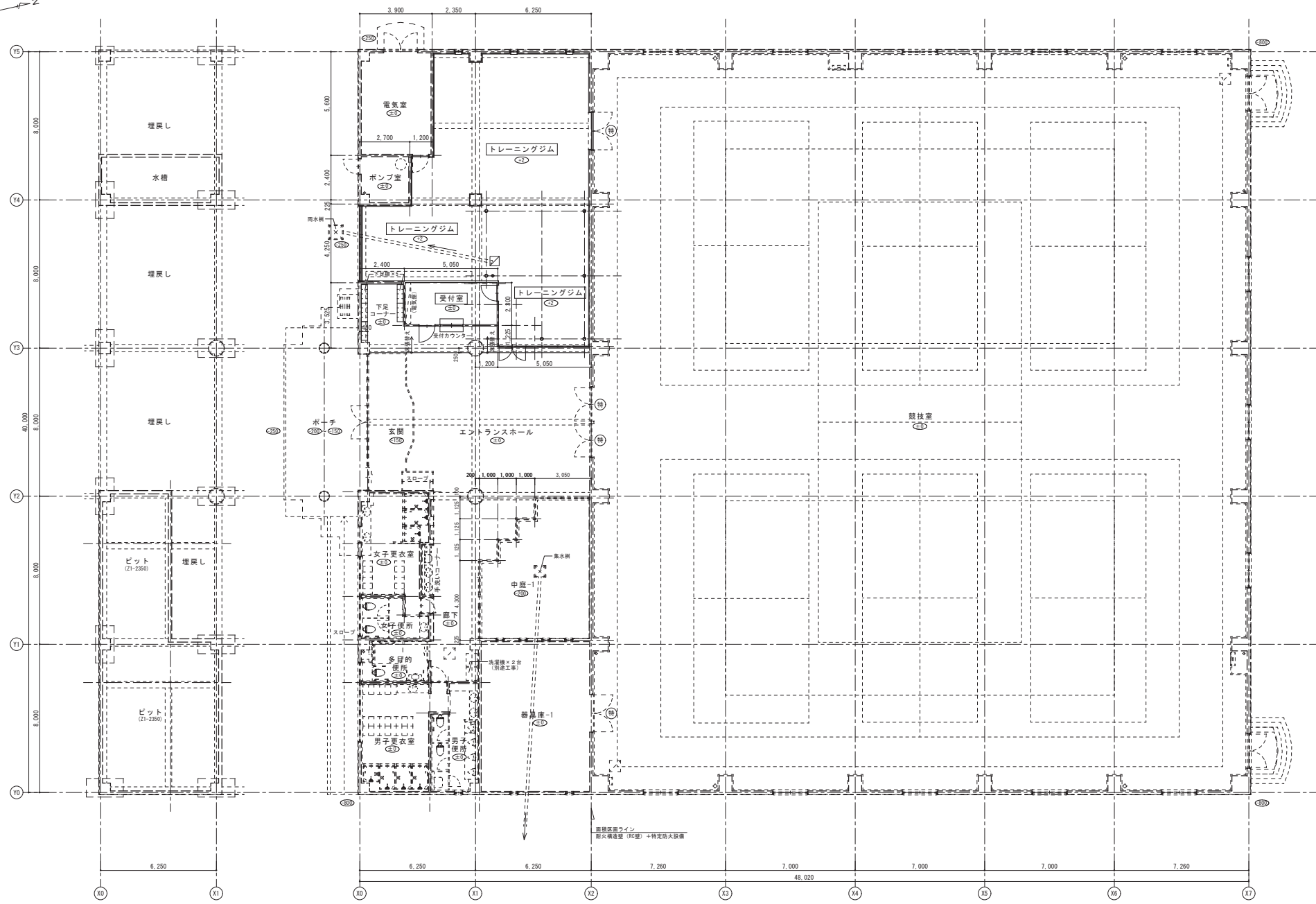
- ・増築部のスラブ下は、ポリエチレンフィルム t=0.15+PF断熱材 t=25
- ・シート防水は、リベトルーフSW (アーキヤマ) 同等品以上
- ・受付カウンターは、VVA (アイカ工業) 同等品以上 (1250W×700D)

- ・新設下足棚は、QL-46(ガラス) 同等品以上 (1000W×300D×153GH、スチール製オーブン棚、スリッパ棚無し)
- ・また、地震等で倒れないように床・壁と連結する (運給物と連結方法は製造所の仕様による)



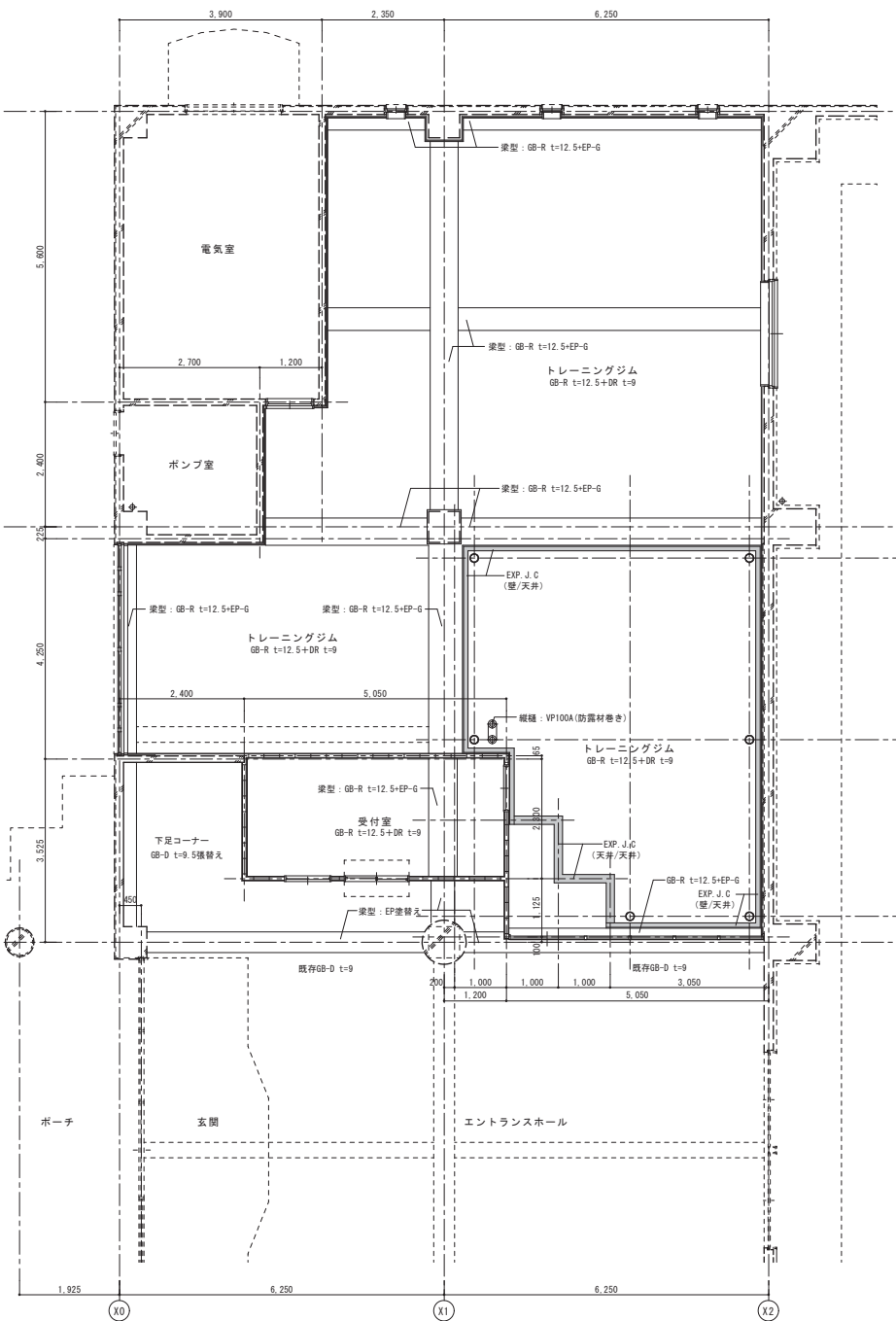
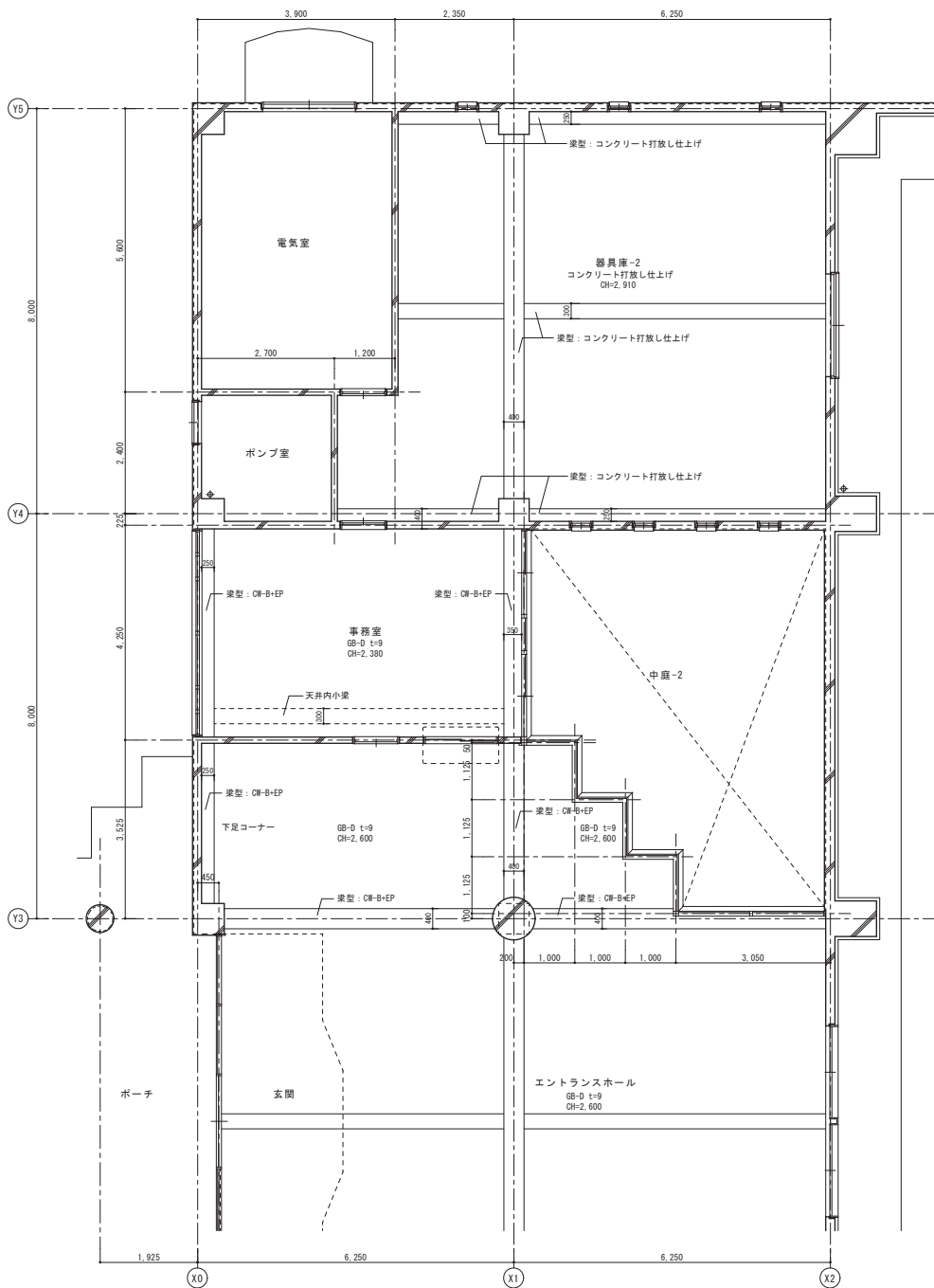
ビット平面図 S=1:100

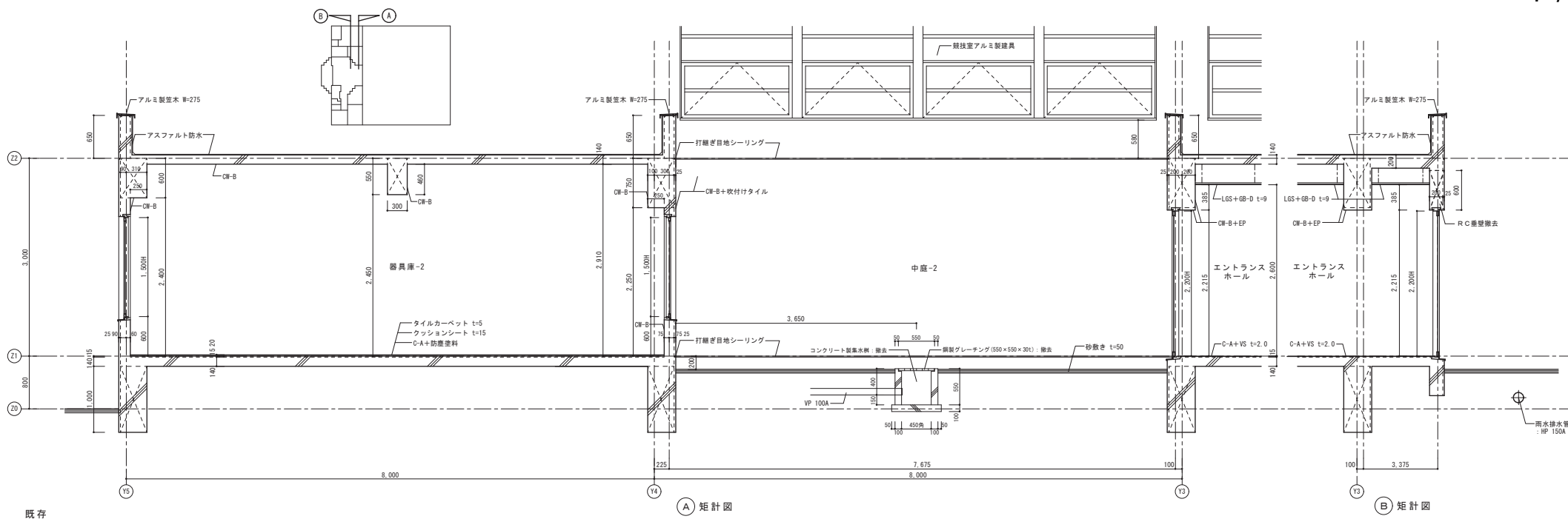
1階平面図



ピット平面図 S=1:100

1階平面図

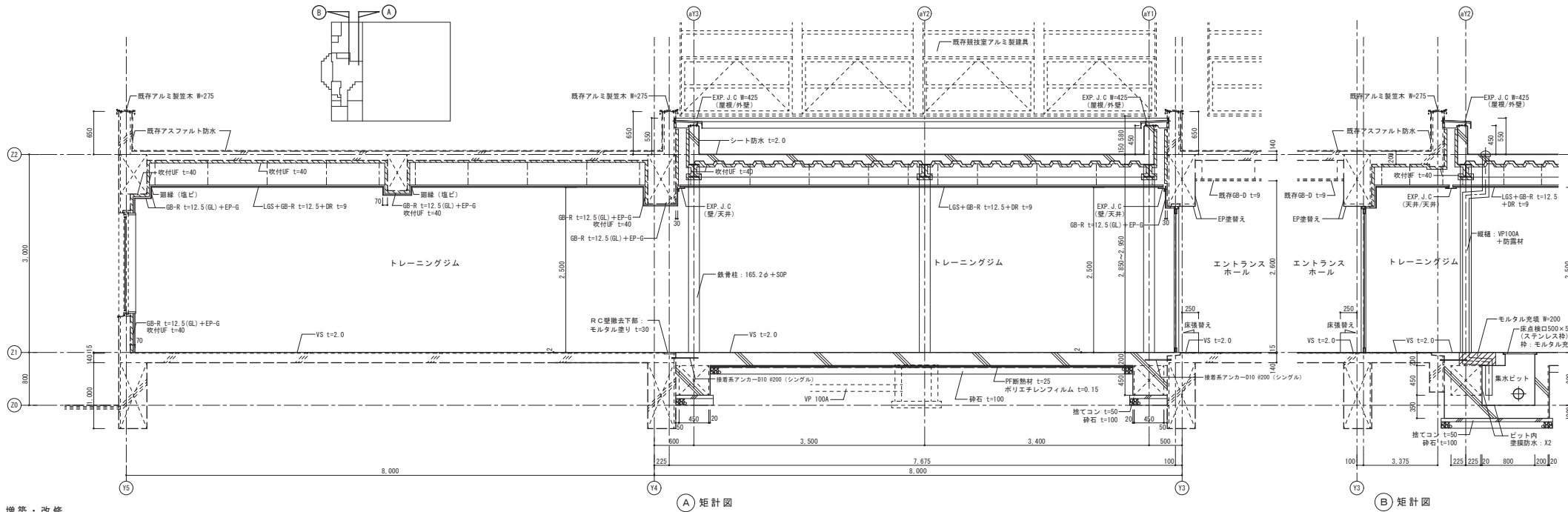




(A) 矩計図

(B) 矩計図

既存



(A) 矩計図

(B) 矩計図

増築・改修